

▼北陸

【富山】花の調和を楽しむ

島井 碩哉(BBT)

北陸の春の訪れは遅い！というイメージがあるが、温室栽培等での草花の分野ではそんなことはない。園芸部会は、6月と11月に寄せ植え教室を開いている。カタカナ名の草花が多いが福寿草などを加えることもある。ここ2年余りはコロナ禍で中止していたが、その間それぞれが自宅で寄せ植えを楽しんでいたことだろう。

6月初旬、久しぶりに開催、登録メンバー16名の過半数、9



名が参加した。この時期のこの参加者数、「なんと素晴らしい！」と自画自賛。その場では、ミニ鉢の立木朝顔を無料配布、7月の半ばには可愛い花を咲かせるだろうと夢想している。

富山でも春夏秋冬、草花を愛でるひとたちが、訪れる季節を楽しんでいる。

【石川】ブログとホームページで

事務局長・吉田直樹(MRO)

北陸民放クラブ石川では、ブログと合わせてホームページを運営しています。おしゃれと無縁、大きな文字大きなボタンで読みやすさ扱いやすさを最優先です。

各同好会の例会日程、イベント等の告知を掲載。各同好会の直近の活動、過去の作品などが閲覧できます。

見た目はシンプルですが、ホームページからブログを閲覧できる、事務局にメールを送れる送信フォーム、グーグル・カレンダーとの同期、会報等PDF閲覧可能、と盛りだくさんの機能を備えています。

データを蓄積し、クラブのアーカイブスに育てていきたいと思つています。ごらんいただき、感想をいただければ幸いです。こちらのQRコードからどうぞ。



【福井】足羽山紫陽花ロード吟行会

村田 浩(FM福井)

北陸民放クラブ・福井の俳句同好会は2012年2月にスタートし、以来10年間、毎月一回、少人数ながら楽しさ第一に句会を実施しています。クラブの恒例行事の吊るし柿作りや、カニソバなど「福井のうまいもん食べよう会」にも参加し、一般の会員の皆さんとも一緒に俳句を作り、会報に発表しています。また、毎回、福井新聞へ投句する他、県下俳人400名が参加する年間合同句集へも各人投句するなど、自由に楽しく活動を続けています。

コロナ禍ではありませんが、6

月20日、福井市民の憩いの場である足羽山(あすわやま)公園を吟行しました。桜の名所百選にも選ばれ、4〜5世紀の古墳群と、信長・秀吉の本陣跡が置かれた公園でもあります。福井市の花である紫陽花は青や紫の色彩も豊かで、ちょうど見頃でした。また、越前出身の第26代天皇である継体天皇を祭神とする足羽神社も吟行。お昼には茶屋名物のこんにやく田楽や木の芽田楽、おろしそばを食べ、梅雨晴れのひと時、各自、紫陽花の佳句を授かりました。傑作はいずれ公表！

